

令和6年度 事業報告

I 概要

今年度は、コロナ禍から平時へ移行し経済活動が活発化する中で、円安の進行、急激な物価高騰や人手不足問題が発生しました。また、私たち四日市市シルバー人材センターでも、インボイス制度による支出増、会員数の伸び悩み等、センターを取り巻く環境は引き続き非常に厳しくなっています。

このような状況の下、第5次中期計画を達成すべく目標に向けて会員・役職員が一致協力して精一杯努力して参りました。

その結果、令和6年度事業計画の目標値に対する実績は次の通りでした。

項目	目標値	実績
会員数	1,450人	1,326人
契約金額	871百万円	902百万円
就業率	90.0%	89.3%

今年度の目標値に対して「契約金額」は目標を達成することができました。また「会員数」につきましては2年連続前年度対比増加となったものの、目標とは大きな乖離が出てしまいました。「就業率」につきましては僅かに目標対比未達でしたが、引き続き高い水準を維持しています。

令和6年度の主な取り組みは、次のとおりです。

(1) 会員の拡大について

- ① 定例会入会説明会は、予定どおり毎月第2水曜日(センター)と第4水曜日(あさけプラザ)の2回実施し、年間の定例会入会説明会参加者は275名でした。また、今年度は楠地区で特別入会説明会を2回開催し、29名の方が参加されました。そのほかセンターでの随時入会説明実施者と子育て支援講習での入会説明会実施者は計7名となりました。全体で入会説明会の参加者は、311名と前年度対比33名増加し、入会された方は189名でした。
- ② 市内の主要企業を訪問。総務担当や組合幹部の方と面談し、その企業の再就職に関する情報をお聞きして、退職者の方にシルバーのパンフレットを渡してもらうよう依頼しました。
- ③ 楠地区の特別入会説明会は、従来から当地区で活動されていた「NPO法人シルバーくす」さんが令和7年3月をもって活動を停止されたことに伴って開催したもので、シルバーくすの会員の皆さんの移籍と発注者さんからの仕事の継続を目的としたものです。
- ④ 毎月1回ハローワークで開催される「年金と仕事セミナー」に参加し、発言時間をいただいてシルバーのPRを行っています。出席者からの問い合わせもあり、入会に結びついています。

(2) 就業機会の確保について

- ① 毎月10件～15件、就業機会創出委員会委員が三連実施の「令和6年度就業に関するアンケート」や四日市商工会議所作成の「企業情報」をもとに市内の企業を訪問し、シルバーのPRを行い受注依頼をしています。
- ② 前年度に続き、新規の民間企業の仕事を獲得するために四日市商工会議所の会員事業所(約4,000社)向けの広報誌にチラシの折り込みを年間3回実施し、就業機会の拡大に努めました。
- ③ ハローワークのイベントにセンターの就業担当者が出席し、参加企業の担当者とコミュニケーションを図ることで、就業機会の拡大に努めました。

(3) 安全・適正就業の推進について

- ① 安全委員会(12回実施)及び拡大安全委員会(1回実施)において、事故発生状況の報告を行っています。さらに安全委員会では事故当事者から直接事故の状況を聴取し、詳細な状況把握をするとともに、改善点・再発防止策を当事者を含めて検討しています。

- ② 安全に関する施策として、「刈払機安全取扱講習会(2回実施)」、「安全運転講習会(1回実施)」、「安全標語の募集(47点の応募)」、「安全委員によるパトロール(16回実施)」、「安全就業だより(4回発行)」、「事故速報(21回発行)」を実施し、安全意識の向上並びに周知を図りました。
- ③ 安全パトロールにて、就業中の会員から作業地域の危険箇所、使用機械類や服装などについての意見を聴取し、改善点を安全委員会で協議いたしました。
- ④ 「地区長・班長全体会議」、「剪定・除草職群全体集会」等において、安全委員会の活動報告や安全に関する注意喚起を行い、広く安全意識の徹底を図りました。
- ⑤ 適正就業に関しては、全国シルバー人材センター事業協会作成のガイドラインに基づき、常に就業状況をチェックするとともに、三重県シルバー人材センター連合会と連携して、就業形態(請負・委任、派遣)の適否を検証しています。

(4) 地域活動の充実について

- ① 地区長・班長全体会議を実施(令和7年3月)し、事業状況報告や地区の課題等についての意見交換を行いました。
- ② ブロック会議・班長会議・地区別懇親会も各地区で積極的に実施され、会員間の交流も活発に実施されています。

(5) 情報発信の強化について

- ① 広報誌「虹の橋(年2回)」、「センターだより(年2回・従来の年3回から変更)」を会員向けに発行しました。タイムリーで有益な情報を発信するよう心がけています。これらはホームページでも閲覧でき、広く市民の方々の目にも触れています。また、「虹の橋」は新入会員募集案内とともに各地区市民センターへの配架も行っており、シルバーの広報に一役買っています。
- ② 女性部を中心に、「エキサイト四日市・バザール2024」や「大四日市まつりおどりフェスタ」に参加し、シルバーのPRを積極的に行いました。また、エキサイトバザールの収益金は四日市市社会福祉協議会に全額寄付しています。
- ③ 「広報よっかいち」、「四日市ホームニュース」、「四老連いきいきだより」に新入会員募集の広告を掲載しました。また、四日市商工会議所の会員向け機関紙に発注募集の折り込みチラシを入れました。その他、ホームページでもシルバーの情報発信を積極的に行っています。
- ④ 令和4年度に当センターが、四日市南警察署の「ハンドサインキャンペーンモデル事業所」に四日市管内で最初に指定され、今年度は「交通安全ライトオン運動」にも参加し、シルバーのPRに役立っています。また、これらの活動が評価され、四日市南警察署より感謝状を授与されました。

(6) 情報収集の強化について

- ① 全国シルバーにおける四日市市シルバーの位置づけ。(令和5年度末)
令和5年度末現在、全国で、団体数は1,341団体、会員数 約67万7千人(前年度比▲0.7%)、受注件数 約290万件(同▲4.4%)、就業実人員 約55万人(同▲0.3%)、就業延人員 約6,146万人(同▲2.7%)、契約金額 約3,141億円(同+1.0%)となっています。
一方、当センターは、会員数 1,318人(前年度比+0.5%)、受注件数 11,649件(同▲4.2%)、就業実人員 1,199人(同+0.9%)、就業延人員 約14万2千人(同+0.7%)、契約金額 約863百万円(同+3.8%)となりました。
全国的には契約金額以外すべての項目で前年度対比マイナスとなっていますが、当センターにおいては受注件数以外すべてプラスとなっており、業績面では検討しているといえます。
- ② 他のセンターとの交流。
令和7年1月28日・29日に、豊橋市SCと岐阜市SCへ視察研修に訪れました。両センターの事業状況をお聞きし、お互い活発に議論を交わし情報交換を行いました。両センターともに当センターより規模が大きいのですが、進歩的かつ柔軟に業務運営をされており、会員数増加策や安全対策等参考になることが多く、大変実りのある研修となりました。

令和6年度事業活動の総括(次年度への課題)

① 会員数の減少並びに高年齢化

この課題は令和6年度に限ったものではなく、ここ数年来の問題となっており、全国のシルバーでも同じ悩みを抱えています。当センターでは、令和5年度・6年度と会員数は僅かながらに増加傾向にはありますが、コロナ禍の時期を中心に会員の減少が続いた影響で慢性的な人手不足状態となっています。

また、会員の平均年齢も上がっており、75歳以上の会員が53%を占めています。

このような状況のため、会員の皆さまへのご負担が増加しており、健康上の観点からも非常に心配な状態です。

今後は、就業人員、就業環境、就業時間等に十分配慮した就業形態が必要になります。

② 事故件数の高止まり

事故件数は、令和4年度24件、令和5年度38件、令和6年度35件と非常に高い水準で推移しています。幸い重篤事故は発生していませんが、この件数は多すぎると言わざるを得ません。

特に、除草時の「飛び石事故」が増加しています。刈払機による飛び石事故は令和4年度5件、令和5年度5件、令和6年度8件となっています。さらに残念なのは、防石ネット未使用による飛び石事故が発生していることです。

今後は、安全委員会を中心に、安全パトロール、事故報告会等により、事故原因の分析並びに事故予防をまいります。

③ 事務のデジタル化への対応

センターの事務処理や伝達においては、紙ベースの割合がまだまだ高くなっています。やはり、このままでは、非効率であり、ミスも発生し易くなってしまいます。

一度にすべてをデジタル化することはできませんが、徐々にその割合を増やして行く必要があると考えています。

令和7年度からは「Smile to Smile」という会員専用サイトの運用が始まります。「Smile to Smile」はセンターと会員のコミュニケーションツールとして、スマートフォンやパソコンからいつでも、どこからでも情報が見られるようになります。一人でも多くの会員の皆さまに参加していただき、業務の効率化を図っていききたいと思います。

これらの課題に対する対応

次年度は「会員数の増強」と「安全就業の徹底」を最重要課題として、事業に取り組んでいきます。

個々の課題や対応方針を理事会や部会・委員会で協議し、その結果を会員の皆さまに丁寧にご説明し理解を得たうえで、全員で対処していきたいと思えます。

そのためには、やはり会員・役員・職員のコミュニケーションが大切です。センターの風通しをよくし、全員が前向きに対応できるよう、引き続き『会員・役員・職員のコミュニケーション強化』を主要テーマとして、諸問題解決に努めます。

令和6年度の主な実績は次のとおりです。

項 目		令和6年度	令和5年度	対前年度比 (%)		
会員数	男 性 (人)	885	882	100.3		
	女 性 (人)	441	436	101.1		
	計 (3月31日現在)	1,326	1,318	100.6		
就 業 状 況	受託件数 (件)	請負・委任	公 共 市 役 所	463	447	103.6
			公 共 そ の 他	294	299	98.3
			民 間 事 業 所	3,376	3,376	100.0
			一 般 家 庭	6,789	6,958	97.6
			介護保険事業	773	789	98.0
			総合事業(サービスA)	574	647	88.7
			上 記 以 外	5,442	5,522	98.6
			独 自 事 業	6	14	42.9
			小 計	10,928	11,094	98.5
	派 遣 事 業	644	555	116.0		
	合 計	11,572	11,649	99.3		
	就業実人員 (人)	請 負 ・ 委 任	1,024	1,051	97.4	
		派 遣 事 業	160	148	108.1	
		合 計	1,184	1,199	98.7	
	就 業 延日人員 (人)	請 負 ・ 委 任	125,261	125,675	99.7	
派 遣 事 業		18,255	16,378	111.5		
合 計		143,516	142,053	101.0		
就 業 率 (%)	89.3%	91.0%	98.1			
配 分 金 及 び 賃 金 (千 円)	709,240	679,334	104.4			
契 約 金 額 (千円)	請負・委任	公 共 市 役 所	279,537	249,050	112.2	
		公 共 そ の 他	160,823	160,560	100.2	
		民 間 事 業 所	212,037	212,714	99.7	
		一 般 家 庭	137,439	139,222	98.7	
		介護保険事業	14,879	16,228	91.7	
		総合事業(サービスA)	5,251	5,867	89.5	
		上 記 以 外	117,309	117,127	100.2	
		独 自 事 業	77	114	67.5	
		小 計	789,913	761,660	103.7	
	派 遣 事 業	112,145	101,550	110.4		
合 計	902,058	863,210	104.5			

II 主な活動状況

1 会員の拡大

(1) 会員の入・退会

① 入会説明会

(単位:人)

説明会の種別	参加者数	入会者数
センターでの入会説明会	151	102
あさけプラザでの入会説明会	124	64
特別入会説明会(楠)	29	16
随時入会説明会	4	6
子育て支援講習	3	1
合計	311	189

※入会者数の中には、R5年度の入会説明会に参加された方も含まれています。

② 会員数の推移

(単位:人)

年度	説明会参加者	入会者	退会者	年度末会員数
令和2年度	220	160	183	1,411
令和3年度	255	143	196	1,358
令和4年度	246	140	186	1,312
令和5年度	278	167	161	1,318
令和6年度	311	189	181	1,326

(2) 会員の資質向上

新規入会者研修を開催し、接遇マナー・各種ハラスメント・安全就業について注意喚起をしました。

(単位:人)

開催日	参加者数
4月25日(木)	10
6月21日(金)	24
8月29日(木)	22
10月30日(水)	19
12月23日(月)	12
令和7年2月27日(木)	25
合計	112

2 就業機会の確保

(1) 独自事業(パソコン教室)の推進

開催回数	5
------	---

(2) 高齢者活躍人材確保育成事業

公益社団法人三重県シルバー人材センター連合会が実施する技能講習と就業体験を、会員の拡大に活用しました。

高齢者活躍人材確保育成事業 技能講習・就業体験・セミナー (市内開催分)		
講習名	実施日	受講者数(人)
子育て支援講習	11月5日～11月8日	10

3 安全適正就業の推進

(1) 安全委員会の活動

- ① 今年度は「事故件数の半減」と「重篤事故の撲滅」を重点項目に掲げました。
結果は、事故の総件数は35件でした。これは、前年対比▲3件に留まり、目標には大きく届きませんでした。中でも刈払機の事故は10件発生し、うち飛び石事故は8件と引き続き高止まりしています。事故の原因究明と対策を強化し更なる減少を目指します。重篤事故については昨年引き続きゼロでした。
- ② 安全適正就業の取組事項として、事故原因の追究と再発防止を狙いとした事故報告会の強化、安全パトロールの実施による就業実態の調査、各方面の集会において安全委員の発言等を行いました。皆さまからのご意見を参考に、安全委員会として安全就業を支えて参ります。
- ③ 安全就業啓発事業として、会員から安全標語を募集し、優秀作品を広報誌で発表しました。応募総数は47点で、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選3点を選び、最優秀作品はセンターや公共施設の入り口に掲示した他、就業報告書等に印刷し会員への安全啓発に利用しました。応募者数も前年度より増加しました。

【最優秀作品】『 “言ったつもり、 “やったつもり、 が落とし穴 初心に戻って安全確認』

④ ヒヤリ・ハット推進状況

項目	令和6年度	令和5年度
体験事例報告件数	10	10

⑤ 事故の発生状況

(単位:件)

項目	年度	令和6年度	令和5年度
傷害事故		12	16
賠償事故	草刈機等の飛び石その他	10	10
	その他	9	6
車両事故		4	6
	住居と就業場所との移動中	1	1
	就業中	3	5
合計		35	38

(2) 健康づくりの推進

会員の健康への自覚を高め、健康診断受診を促進するため、受診の有無をセンターに報告する取り組みを本年度も行いました。回答数は前年に比べ減少しました。

項目	令和6年度	令和5年度
送付数	1,351	1,346
回答数	478	682
回収率	35.4%	50.7%

4 就業能力の向上

職群班ごとにテーマを決めて取り組んだ研修の実施状況は次のとおりでした。

職群班	研修内容
生活支援	「生活110番事業」と連携して生活支援サービス班長会議を2ヶ月に1回開催し、提供するサービス向上を図るための意見や案を話し合いました。また、意識の向上を図るため除草班・剪定班の全体会議や安全適正就業推進大会にも参加しました。
介護	訪問介護(介護保険)事業では、要介護、要支援状態にある高齢者に対して適切な支援を提供できるよう、介護ヘルパーリーダー会議とヘルパー勉強会を開催しました。ヘルパー勉強会は年間9回実施、講師を招いて「高齢者虐待について」の講義を受ける等、義務化された講習を中心に開催し、就業スキルの向上に努めました。
子育て	毎月1回育児班調整会議を開催し、子どもたちについての情報共有と事故防止対策を協議しました。三ッ連主催の「子育て支援講習」では新たに3名の方が入会されました。また3月には「ピッコロ設立20周年記念式典」を開催し、歴史を振り返ると共にこれからの子育てのあり方や保育者の心構えを確認しました。
除草	技術向上と安全作業向上の徹底を図るため、7月と10月に「刈払機安全取扱講習会」を実施し、19名が受講しました。また、2月に剪定・除草チーム全体会議を開催し、事故発生状況の報告を行うとともに、安全作業やチーム間の協力体制について活発な意見交換、協議を行いました。

5 普及啓発の推進

様々な活動が開催されました。

啓発活動	実施日	場所	参加者数
エキサイト四日市・バザールへの出店およびパンフレットの配布	4月6日・7日	諏訪新道周辺	約40
春の全国交通安全運動の啓発活動でパンフレットを配布	4月9日	イオン四日市尾平店、四日市北店の店外	27
大四日市まつりの「おどりフェスタ」へ参加	8月3日	三滝通り周辺	43
大四日市まつり後の清掃ボランティア	8月5日	諏訪新道周辺	15
秋の全国交通安全運動の啓発活動でパンフレットを配布	9月26日	イオン四日市尾平店、四日市北店の店外	32
地域ボランティア	随時(春・秋)	各地区延44ヶ所	760
清掃ボランティア	12月5日	近鉄四日市駅周辺	115
清掃ボランティア	3月6日	南部丘陵公園	96

6 財政基盤の確立等

法人の運営状況を詳らかにするため、予算の執行状況を毎月理事長に報告しました。また、毎月事業実績を理事会に報告するとともに、定款の規定に基づき理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況を理事会に報告しました。

市に当センターの経営状況等を説明し、補助金の確保にも努めました。

7 組織の強化等

(1) 地域班活動の充実

ブロック会議・班長会議の実施状況は以下のとおりです。残念ながら、班長会議の回数は前年を下回りました。当センターの運営状況の共有、地域の課題に対する協議等の場ですので積極的に開催をお願いします。

項 目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
ブロック会議	1	1	4
班 長 会 議	53	58	56

(2) その他の取り組み

前年度に企画した「暑さ対策費補助事業」を実施しました。ここ数年毎年繰り返される夏場の酷暑対策として、少しでも会員の皆さまのご負担軽減に役立てるように企画したもので、たくさんの申し込みがありました。

また、次年度に実施予定の会員専用サイト「Smile to Smile」に関連し、スマホ教室を今年度も開講しました。3回目の実施となりますが、受講された大多数の方に満足であったとの感想をいただきました。

事業報告の附属明細書について

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条3項に規定する、附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。